

見出しの比較

～数字から（朝日新聞）～

E-2-1-3-1
九州北部
豪雨

【 対象 】 司書教諭、一般教員、学校司書、児童・生徒
一般 その他

【 時間 】 60分

【 会場 】 教室 図書館 など

【参加者の持ち物】
筆記用具 など

【準備】 記事のコピー（班の数）
キット 九州北部豪雨 8-2-1-3

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】

① 2017年の7月6日から2018年1月9日までの朝日新聞の記事の見出しから、数字が使われている記事を探す。

② 何を数字で表しているのかを考え、ノートやワークシートにまとめる。

例

発行日	数字	表しているもの
7・6	11人	安否不明
	43万人	避難指示

③ ②から気付いたこと発見したことを、発表し合う。

④ 時間経過とともに表しているものがどう変化していったかを、ノートやワークシートに書く。

【 その他 】 時間の経過によって、報道の視点が変化していくことに気づき、数字の持つ効果についても考えさせることができます。コピーを班の数用意し、班の中で作業していくと、自然と意見交流もされます。